

「Jackery PLAY PARK : EXPLORE & GATHER」 補足資料/TALK SHOW 登壇者・DJ&LIVE 出演者

《TALK SHOW 登壇者》

① 食×防災：おいしい非常食からはじめる都市防災

株式会社 Jackery Japan

マーケティング本部 マーケティング第一部 コンテンツディレクター/防災士

鈴木広介（スズキ コウスケ）



2022 年、Jackery Japan に入社。能登支援活動においては、奥能登エリアの地元の方々や災害支援団体との連携を担当。2024 年 3 月には現地でのインタビュー動画の製作を行い、同年 10 月の能登豪雨直後も現地取材を実施。

クラフトフードブランド ONE POT WONDER

Bench Sasaki Susumu（ベンチ ササキ ススム）



KNOTO メシ開発製造を担当。楽しい食卓づくりをコンセプトに、お腹を満たすだけの食ではなく、人と人を繋ぐ文化のある食の提供を目指すクラフトフードブランド ONE POT WONDER のプロデューサー/取締役役。レトルト食品を一つから作ることでできるラボキッチンを保有し、小規模製造の利点を活かして挑戦的な商品開発に取り組み、「災害時に 1 日 1 食でもいいから美味しいご飯を召し上がっていただく」ために「美味しい非常食」の企画・開発を行っている。

② 住まい×防災：マンションに住んでいたら避難所に入れない!?都市が抱える防災課題

防災士研修センター

玉田 太郎（タマダ タロウ）



IPU 卒業。大手人材・IT 系企業での勤務を経て防災情報新聞業務部長等を歴任。東日本大震災による東北沿岸部の被害調査の他、熊本地震、西日本豪雨災害、北海道胆振東部地震など、全国各地の災害現場での視察を基に防災士研修企画等に当たる。フジテレビ系「ホンマでっか!?TV」に出演するなど多方面で活躍。

地域活性ファシリテーター、元中野議会議員

出井 良輔（イデイ リョウスケ）



中野生まれ、中野育ち、4 人の子どもの父。

中野区区議会議員を 5 期経験し、リスキングの為に明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科に入学。

能登半島地震から学び非常食の美味しさを追求する ONE POT WONDER の BOIL IN BAG プロジェクトにおける地域連携及び、災害対策見直しの啓蒙活動、心のよりどころとなるコミュニティづくりと子どもの体づくりを目的とした、東京アーバンスポーツクラブ代表として活動中。

③ アウトドア×防災：避難生活のイメージを変える、たのしいアウトドアライフ

『GO OUT』統括プロデューサー

竹下 充（タケシタ ミツル）



1979 年広島生まれ。2002 年、大学卒業後、関西のストリート・ファッション誌で編集者としてのキャリアをスタート。上京後、ニュース出版（現 三栄）にて「FUDGE」の編集などを経験した後、2007 年「GO OUT」の創刊編集長となる、2013 年「THE DAY」創刊編集長に就任。「TOKYO OUTDOOR SHOW」の実行委員も兼任。現在は雑誌の GO OUT を始め、関連する事業である、野外イベントの GO OUT CAMP、GO OUT JAMBOREE、オンラインサイトの GO OUT Online、WEB メディアの GO OUT WEB のプロデューサーを行う。

滝沢守生（タキザワ モリオ）



野外イベントの運営制作を行なう「キャンプよろず相談所」をはじめ、アウトドア、登山、エコロジー、カルチャーをテーマに、編集企画やイベント制作などを手がける株式会社ヨンロクニ代表。学生時代より長年にわたり、国内外で登山活動を展開し、その後、山と溪谷社に入社。『山と溪谷』『Outdoor』『Rock & Snow』などの雑誌や書籍編集に携わった後、独立し、現在に至る。在住する鎌倉では地域防災力の向上ため、市民とアウトドアコミュニティをつなぐ防災プロジェクト「もしかま」のディレクターを務める。日本山岳会会員。コンサベーション・アライアンス・ジャパン事務局長。

④ サウナ×防災：サウナで解決する、被災時の入浴事情

奥田 祐也（オクダ ユウヤ）



1987 年福岡県生まれ。スイッチ・パブリッシングにてトラベルカルチャー誌『Coyote』の編集や『SWITCH』の広告企画を担当し、過去にはサウナ特集も担当。2023 年から独立し、現在は東京と北海道旭川近郊との 2 拠点で生活する。インドのガンジス川のほとりや、極寒のインドス川上流でテントサウナを敢行した経験あり。サウナスパプロフェッショナル、フィンランドサウナアンバサダー。

防災アナウンサー® × 環境省アンバサダー

奥村奈津美



NHK「おはよう日本」「あさイチ」TBS「マツコの知らない世界」などテレビ・ラジオをはじめ、雑誌・新聞など様々なメディアで「おうち防災」の専門家として出演。全国での講演実績多数。被災地支援活動や防災教育に力を入れるほか、環境省アンバサダーとして「気候危機×防災」の啓発活動にも取り組む。著書『大切な家族を守る「おうち防災」』（辰巳出版）他

【DAY2 : 9/21】

① 食×防災：おいしい非常食からはじめる都市防災

クラフトフードブランド ONE POT WONDER Bench Sasaki Susumu

地域活性ファシリテーター、元中野議会議員 出井 良輔

② 電源×防災：これだけあれば大丈夫。1 から始めるポタ電防災

合同会社ソナエルワークス 代表社員

備え・防災アドバイザー

高荷智也（タカニ トモヤ）



「自分と家族が死なないための防災」をテーマに、地震・水害・パンデミックなどの自然災害から、銃火器を使わないゾンビ対策まで、堅い防災を分かりやすく伝える活動に従事。防災系 Youtuber・Voicy パーソナリティとしても活躍中。

株式会社 Jackery Japan / 鈴木広介

③ サウナ×防災：サウナグッズは防災グッズ！？サウナでととのう防災準備

菅原理之（スガハラ タダユキ）



株式会社 SUNDAY FUNDAY 代表。フィンランドでアウトドアサウナに魅せられ、フィンランド政府観光局公認のフィンランドサウナアンバサダーとして日本にサウナの魅力を広めている。音楽フェスを中心にサウナ関連イベントを多数開催。サウナを活用した地方創生プロジェクトにも関わり、日本のアウトドアサウナシーンを牽引している。

日本のサウナ黎明期からサウナトラックを開発し、現在は観光バスを改装した大型サウナカー「SAAMO」を運営するサウナカープロデュースの第一人者でもある。

合同会社ソナエルワークス 代表社員、備え・防災アドバイザー / 高荷智也

《DJ&LIVE 出演者》

【DAY1 : 9/20】

DJ JIN (RHYMESTER / breakthrough) [15:00-]



日本を代表するヒップホップ・グループ、ライムスターのDJ／プロデューサー。ファンク／ソウル／ジャズなど幅広い音楽への深い理解に基づくモダンなサウンド・プロダクションと、時代／ジャンルを横断しつつ常に高品質なグルーブ感溢れるアナログ・レコード・オンリーのクラブ・プレイで人気。また、世界中のクラブ・アーティストとクロスオーバーするDJ／プロデューサー集団〈breakthrough〉も主宰し、国内外のミュージック・ラヴァーから揺るぎない評価を獲得。さらに現在、J-WAVEの音楽カルチャーFM番組「TOKYO M.A.A.D SPIN」にて毎月第三金曜日のレギュラー・ナビゲーターを担当。

JFN 系列で全国オンエアされたウィークリーFM 音楽番組「Joint & Jam」は、放送開始から12年目を数えたなどラジオ・パーソナリティとしての実績も。豊潤な音楽的〈軸〉が一切ぶれることなく、実に幅広い層にアピールし続けられている稀有なアーティストのひとり。

DJ SHINCO (スチャダラパー) [16:30-]



ジャパニーズ HIP HOP のパイオニア“スチャダラパー”のDJ。

2025年9月2日に5枚目のアルバム「5th WHEEL 2 the COACH」から30周年を記念したライブをLINE CUBE SHIBUYAで行った。

AKOY [18:00-]



サウナを巡る、ととのい音楽家。シンセとルーパーでの即興アンビエントをお届けします。

HYATO DELAROSSA [DAY1 13:30-/19:00- / DAY2 17:30-]



地元千葉にてパンク・ハードコア DJ イベント「PLUGED」のオーガナイズよりキャリアをスタート。のちに世界の様々な音楽を吸収し、既存のジャンルにとらわれない独自の解釈で曲をミックス。パンクの精神を軸に Hip Hop、レゲエ、メタルから歌謡曲まで自由な音楽の楽しみ方を提案する。1 度のプレイで縦横無尽にジャンルを行き来するそのミックススタイルは唯一無二なグルーブを作り、そのスタイルゆえに様々なジャンルのイベントやフェスや盆踊り大会に出演。またトラックメイク、REMIX ワーク等の活動も行。中野オープンソースで毎月オールジャンルイベント「DE LA BAR」を開催

【DAY2 : 9/21】

DJ KYU a.k.a. INTRUDER [13:30-]



未来を変える農業エンターテイメント！をミッションに、掲げ農業や地方の課題に取り組む株式会社くるくるやっほーの代表。アフロキャベツやアフロコーンなどをユニークな野菜を生産。能登の炊き出しにも食材を持って率先して参加する。

DJ ブースを出しながら隣で、自身の作った野菜を販売するツアーを開催するなど独自の活動を展開。「畑で音楽フェスを開催することが夢です！」

MAKOTO OKAZAKI [15:00-]



ギターを膝の上でピアノの様に演奏するラップタッピングという奏法は異なったメロディーラインとベースラインを同時に演奏し独特なリズムとハーモニーが生まれる。ギターを演奏しながらボディーを叩くパーカッシブな演奏でアコースティックギター1 本だけとは思えない独特なグルーブ、サウンドを創り出す。

OIBON [16:00-]

1999 年より DJ 活動開始。各地のクラブから大型フェス、カフェやレストランまで様々なイベントで DJ をこなす。FUNK, JAZZ, SOUL, DISCO〜HIP HOP, BREAK BEATS, HOUSE, TECHNO ま
でジャンル問わずあらゆる音楽を吸収し、独自の解釈で一つの音楽として作り上げるプレイで多くのクラウドを魅了している。